

福祉を学ぶ高校生の姿を地域に発信 地域福祉の担い手をともに育てる

高校生地域ふくし実行委員会

活動の目的

福祉を学び真摯に利用者と向き合う高校生の姿を地域の方々に広く知っていただき認めてもらうことで、高校生自身に地域福祉の担い手となる自覚を芽生えさせ、地域に貢献する人材の育成を地域とともに行う。それにより高齢者だけでなく誰もが住み慣れた地域で「ふだんのくらしのしあわせ」を追及することができる社会を目指す。

活動の内容及び経過

●介護技術コンテスト

- ・期 日：令和元年6月26日（水）
- ・場 所：児島市民交流センタージーンズホール
- ・参加者：4チーム
 - ・岡山県立倉敷中央高等学校 ・岡山県立備前緑陽高等学校
 - ・倉敷市立倉敷翔南高等学校 ・岡山県美作高等学校
- ・審査員等：5名
- ・見学者：生徒100名、教員等25名、一般30名
- ・課題解説、講評：岡山県介護福祉士会 三宅真奈美氏
- ・福祉用具ミニ講義：株式会社アークリード 岩田成矢氏

岡山県立倉敷中央高等学校チームが最優秀賞に選ばれた。これを受け、県代表として中国地区大会に出場、優秀賞に選ばれ、さらに全国大会に出場し、優秀賞を受賞した。

●生徒体験発表会・講演会

- ・期 日：令和元年12月16日（月）
- ・場 所：児島市民交流センタージーンズホール
- ・発表生徒：8校10名
 - ・岡山県立倉敷中央高等学校 ・岡山県立備前緑陽高等学校
 - ・岡山県立瀬戸南高等学校 ・岡山県立興陽高等学校
 - ・岡山市立岡山後楽館高等学校 ・倉敷市立倉敷翔南高等学校
 - ・岡山県美作高等学校 ・倉敷翠松高等学校
- ・参加者：生徒81名、教員20名、一般14名
- ・講演会のテーマ：「地域とつながる～互助の視点で高校生にできること～」
- ・講 師：倉敷市社会福祉協議会 水野孝昭氏他17名
- ・協力団体 児島地区民生委員児童委員協議会、児島地区愛育委員会、児島地区栄養改善協議会、赤崎地区社会福祉協議会、くらしき心ほっとサポーター、ちどり助け愛たい、水島こども食堂ミソラ♪

●交流会・ボランティア活動（各校で実施5月～2月）

学校ごとに地域でボランティア活動を実施



活動の成果・効果

●介護技術コンテスト

- ・初めて一般公開し、「緊張しながらも一生懸命介護に取り組む高校生の姿に感動した。」「こんな高校生がいることを初めて知った。岡山県の将来は明るい。」など、多くの意見をいただいた。
- ・課題解説や福祉用具のミニ講義や展示コーナーでは、知っておくと便利な最新の介護技術習得の場となり、共に学びあうことができた。

●生徒体験発表会・講演会

- ・高校生が介護現場で体験した喜びや戸惑い、介護の魅力などを発表することで、地域の方に福祉を学ぶ高校生の存在を認識していただくことができた。介護職の方からは、「初心に戻れた。こんな子たちを採用したい。」など、お褒めの言葉をいただいた。
- ・講演会では、講師の方々とのグループワークを通して、生徒は地域の課題を知り、自分たちも一員として活動に取り組んでみたいという思いを持ったようである。協力団体の方々からも、「もっと詳しく自分たちの活動を伝えたい。ボランティアに来てほしい。」など、今後もつながりたいとの声をいただいた。

今後の課題と問題点

今年度は初めての一般公開だったため、広報活動の時間が少なく、来場者が30名程度であった。今後はより多くの方にこの活動を知っていただき、参加していただくことを課題としたい。

- 代表者：姫路真由美 ●所在地：倉敷市児島稗田町
- TEL：086-473-4240 ●E-MAIL：kurashiki@shonan.ed.jp
- 設立年：2018年 ●メンバー数：16名